令和８年第６回定例会一般質問通告事項

| | | |
|---|---|---|
| 12<br>月<br>4<br>日 | 岡　村　　隆　議　員（　公　明　党　） | 質問方式：一問一答方式 |
| | １　頼れる身寄りのない高齢者等への支援について<br>社会福祉法等の改正により創設される新たな生活支援事業と、地域権利擁護相談支援センターについて、本市の対応を問う<br>（1）新たな生活支援事業の実施体制と利用者保護について<br>社会福祉協議会を中心とするのか、民間事業者や社会福祉法人等の参画を想定するのか、本市の考えを伺う。また、契約トラブルへの対応、利用者保護及び事業者撤退時の支援継続についても確認する<br>（2）低所得者への対応と担い手・財源の確保について<br>利用料や葬儀・納骨等の実費を負担できない低所得者への対応と、専門人材及び継続的な運営財源の確保に向けた検討状況を確認する<br>（3）地域権利擁護相談支援センターの整備について<br>既存の支援機関や社会福祉協議会の「かけはし」との関係、設置主体、運営方法、人員体制及び令和９年４月の施行に向けた準備状況を伺う<br><br>２　再犯防止の推進について<br>第２次尾道市再犯防止推進計画の策定が当初予定から遅れていることを踏まえ、今後の実効性ある取組について、以下の５点を問う<br>（1）計画策定の遅延と今後の推進について<br>遅延の理由、現在の策定状況と具体的な策定時期、未策定期間の取組や課題への対応について明らかにされたい<br>（2）行政と関係機関との連携について<br>保護観察所や保護司会等との連携体制、保護司等が相談できる市の窓口と関係部署につなぐ具体的な仕組みについて、本市の考えを伺う<br>（3）社会復帰に向けた就労と住居の確保について<br>就労・住居支援の体制と、市営住宅の活用や居住支援法人との連携など、支援策の充実に向けた取組について伺う<br>（4）保護司をはじめとする民間協力者への支援について<br>保護司の確保や活動上の課題の把握状況、民間協力者の活動環境づくりと行政支援の充実について、市の見解を求める | |

| | |
|---|---|
| 12<br>月<br>4<br>日 | (5) 取組の検証と今後の推進について<br>就労・住居の確保や生活の安定など、支援の成果を評価する指標と、検証結果を踏まえた取組の改善方針について確認する<br><br>3　防災・危機管理体制の強化と事前防災の推進について<br>災害から市民の生命と暮らしを守るため、防災体制と地域防災力の強化について、以下の6点を伺う<br>(1) 防災・危機管理を担う組織体制について<br>担当職員数や専任・兼務の状況、県内自治体の専門部署設置状況を確認するとともに、「課」以上の独立部署の設置を含む組織体制の抜本的な見直しについて、市長の見解を伺う<br>(2) 福祉部門と連携した事前防災について<br>個別避難計画の作成や福祉避難所の確保など、福祉部門と連携した要配慮者への事前対策の状況を確認する<br>(3) 災害発生時の市職員の参集体制と指揮命令系統について<br>本庁・各支所への参集人数の想定、発災時の参集方法、代替要員の確保及び指揮命令系統の整備状況について伺う<br>(4) 市内一斉防災訓練について<br>参加者数・参加率、地域ごとの参加状況や分析結果、今後の訓練や防災対策への反映について確認する<br>(5) 自主防災組織の実効性向上と地域の担い手育成について<br>未結成自治会数や組織の活動状況、研修の充実について伺う。また、マンションの棟数や自治会加入状況、防災訓練・備蓄・安否確認体制の把握状況を確認し、管理組合等と連携した防災対策の推進について、市長の見解を求める<br>(6) フェイズフリーの考え方を取り入れた防災対策について<br>フェイズフリーの考え方を、まちづくりや公共施設整備、市民への防災啓発に取り入れていく考えについて伺う |